

第6期 江別市スポーツ推進計画策定方針

江別市教育委員会では、スポーツ行政推進のため、5年毎に江別市スポーツ推進計画を定め、計画に沿って各種の施策・事業を推進している。

現在進行中の「第5期江別市スポーツ推進計画」(平成26年度～30年度)は、平成30年度で計画期間が終了となることから、「第6期江別市スポーツ推進計画」(平成31年度～35年度)を本方針により策定する。

1. 計画策定の背景と趣旨

現計画では、スポーツ基本法に基づき策定された国のスポーツ基本計画を参酌し、江別市総合計画の個別計画として、江別市のスポーツ推進に関する基本的な方向性を示すもので、「生涯スポーツの推進」、「地域スポーツ活動の推進」、「スポーツ環境の整備・充実」の3点を基本目標に設定し推進している。

今日、急速な少子・高齢化と人口減少が予想される中、グローバル化や情報通信技術の一層の進展に伴って、人・モノの流動化・多様化が進み、産業・経済、雇用環境の変容、所得格差の拡大など、市民を取り巻く社会環境は急激に変化している。

一方、昭和60年頃を境に子どもの体力・運動能力が低下する傾向が現れ、将来的に生活習慣病の増加やストレスに対する抵抗力の低下などが懸念されることを受けて、学校を中心に子どもの体力・運動能力の向上を図るため、体育の授業や運動部活動などを通して児童・生徒がより積極的にスポーツに取り組む対応策が進められてきている。他方では、少子高齢化の進展にともない、次代を担う子どもの健全育成、中高年の生活習慣病の予防、高齢者の介護予防、障がいを持つ人々の社会参加など、市民がスポーツを行う目的や意義は、ますます多様化している。

国において、平成27年10月に、スポーツに関連する施策を総合的に推進するため、スポーツ庁を創設し、平成29年3月には、「第2期スポーツ基本計画」を策定し、2020年東京オリンピック・パラリンピックなどの大規模な国際大会開催を挟む、5年間の重要な指針となる、中長期的なスポーツ政策の基本方針が示されたところである。その方針では、スポーツの価値の中核は、「楽しさ」や「喜び」であり、すべての人々が自発的にスポーツに取り組み、自己実現を図り、前向きで活気に満ちた絆の強い世界を創ることとしており、具体的には、「スポーツで『人生』が変わる!」「スポーツで『社会』を変える!」「スポーツで『世界』とつながる!」「スポーツで『未来』を創る!」というキーワードを挙げ、計画の期間内にスポーツに参画する人口を拡大するとともに、スポーツ以外の他の分野と連携・協力しながら「一億総スポーツ社会を」を実現させることをねらいとしている。こうした方向での考え方は、都道府県レベルにおいても同様の流れとなっている。

また、これまでの本市のスポーツの推進に目を向けると、スポーツ関連施設の効率的な運営を目的に、平成4年6月に「(財)江別市スポーツ振興財団」が設立され、スポーツ事

業の拡充を図ってきたほか、市民皆スポーツの推進母体として形成されている「総合型地域スポーツクラブ」を広く市民にPRするための支援を行うほか、さらなる市民スポーツ、地域スポーツ振興を図るための機能の向上など、様々な取り組みによるレベルアップを図ってきている。

こうした動きの中で、スポーツ行政は改めてその推進のあり方が問われているといっても過言ではなく、本市においても「健康都市宣言」を背景として、市民の健康づくりとスポーツ活動の関連づけを含め、時代の変化に対応したスポーツ推進の展望と目標を提示する必要がある。

2. 計画策定の基本的な考え方

第6期江別市スポーツ推進計画は、「江別市教育大綱」（平成27年8月）を策定してから、初めて策定することとなる。大綱の「基本理念」には上位計画である「第6次江別市総合計画」の基本目標を充て、さらに「基本方針」には、個別計画（「社会教育総合計画」「スポーツ推進計画」「学校教育基本計画」）の基本目標を充てていることから、次期計画においても、これまで同様、上位計画と現行の第5期江別市スポーツ推進計画を基調とし、「江別市自治基本条例」（平成21年度）を念頭に置きながら策定していくものとする。

併せて、「えべつ市民健康づくりプラン21」（平成26年度～35年度）、「江別市男女共同参画基本計画」（平成26年度～35年度）、「障がい者支援・えべつ21プラン」（平成27年度～32年度）等、関連する計画等で示された考え方や施策との整合性にも配慮するとともに、平成29年3月に策定された国の「第2期スポーツ基本計画」や平成30年中に策定予定である道の「第2期北海道スポーツ推進計画」の動向にも注視する。

また、計画策定の過程においては、市民アンケートやまちづくりアンケート等、市民の意見・要望の把握に努め、江別市の地域性を踏まえた計画の策定を目指す。